

## **Dynamic Converter**

インストレーション・ガイド

10g リリース 3 (10.1.3.3.1)

部品番号 : E05634-01

2007 年 9 月

Dynamic Converter インストレーション・ガイド, 10g リリース 3 (10.1.3.3.1)

部品番号 : E05634-01

原本名 : Dynamic Converter Installation Guide, 10g Release 3 (10.1.3.3.1)

原本部品番号 : A00051-01

原本協力者 : Ron van de Crommert

Copyright © 2007 Oracle. All rights reserved.

#### 制限付権利の説明

このプログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。

独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段（電子的または機械的）、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

#### U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかかるとして使用する際、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（*redundancy*）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万が一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、Siebel は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性がありま。

このプログラムは、第三者の Web サイトへリンクし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社は第三者の Web サイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、第三者の製品およびサービスの品質、契約の履行（製品またはサービスの提供、保証義務を含む）に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

# 目次

## 第 1 章：概要

Dynamic Converter について .....	1-1
Dynamic Converter のプロセス .....	1-3
システム要件 .....	1-4
ライブラリの依存性 .....	1-5

## 第 2 章：Dynamic Converter ソフトウェアのインストールと有効化

インストール前のタスクと考慮事項 .....	2-2
Dynamic Converter の再インストールまたは以前のバージョンからのアップグレード .....	2-2
マスターおよびプロキシ・サーバーでの Dynamic Converter のインストールまたはアップグレード .....	2-2
UNIX でのグラフィックおよびフォントのレンダリング .....	2-3
オプション 1: 選択されたシステムでのグラフィック・デバイス・エミュレーションの使用 .....	2-3
オプション 2: X-Windows のグラフィック・ハードウェア・テクノロジーの使用 .....	2-4
オプション 3: X-Windows の仮想フレーム・バッファ・ソフトウェアの使用 .....	2-5
Dynamic Converter ソフトウェアのインストールと有効化 .....	2-7
インストール後の手順と考慮事項 .....	2-8
IBM DB2 のフィールド長の問題 .....	2-9
Linux での Motif ライブラリとの互換性 .....	2-9
サンプル・テンプレートのチェックイン .....	2-10
テンプレートの編集 .....	2-12
管理タスク .....	2-12

## 付録 A: Dynamic Converter のアンインストール

Dynamic Converter コンポーネントのアンインストール .....	A-1
Template Editor のアンインストール .....	A-2

## 付録 B: サード・パーティ・ライセンス

Apache Software License .....	B-1
W3C® Software Notice and License .....	B-2
Zlib License .....	B-4
一般的な BSD ライセンス .....	B-5
一般的な MIT ライセンス .....	B-5
Unicode ライセンス .....	B-6
その他の帰属 .....	B-7

## 索引

# 1

## 概要

この項の内容は、次のとおりです。

- ❖ [Dynamic Converter について](#) (1-1 ページ)
- ❖ [Dynamic Converter のプロセス](#) (1-3 ページ)
- ❖ [システム要件](#) (1-4 ページ)
- ❖ [ライブラリの依存性](#) (1-5 ページ)

## DYNAMIC CONVERTER について















---

Dynamic Converter は、Content Server のオプションの追加コンポーネントです。出力側で作動し、Content Server にチェックインされたファイルをオンデマンドで動的に、つまり Web ブラウザにコールされると即時に、HTML に変換します。各コンテンツ・アイテムに対し、HTML ファイルや GIF イメージを含めた複数の出力ファイルを生成できます。この HTML レンディションにより、ネイティブ・アプリケーション（ファイルの作成に使用されたアプリケーション）がなくてもコンテンツを Web で表示できます。

Dynamic Converter は、390 以上のファイル形式を HTML に変換できます。ルールベースのテンプレートを使用して、変換したコンテンツの外観を統一できます。テンプレートを使用して、ドキュメントの各部分（要素と呼ばれます）がどのように Web ページに表示されるかを定義します。なかでも、レイアウト・テンプレートは、Web ページの環境（境界線、ナビゲーションなど）を定義するために使用されます。

Content Server 内のソース・ドキュメントの HTML レンディションを表示するには、Content Server の「Search Results」ページおよび「Content Information」ページに表示される HTML リンクを使用します（[図 1-1](#) および [図 1-2](#) を参照）。

図 1-1 「Search Results」 ページのアクション・メニューの「HTML Rendition」 リンク

Search Results Found 7 items				
▼ Change View ▼ Query Actions				
ID	Title	Date	Author	Actions
<a href="#">ppt_sample</a>	PP Sample	3/6/07	sysadmin	 
<a href="#">plainscript</a>	plain script	3/6/07	sysadmin	 
<a href="#">default</a>	default	3/6/07	sysadmin	 
<a href="#">acclaim</a>	Acclaim	3/6/07	sysadmin	 
<a href="#">Executive_overview</a>	Executive Overview	3/6/07		 
<a href="#">install_guide</a>	Acme Engineering Installation Guide	2/23/07		 
<a href="#">exec_templ</a>	Executive Template	2/22/07		 

Content Information

Check Out

Get Native File

Check In Similar

Send link by e-mail

HTML Rendition

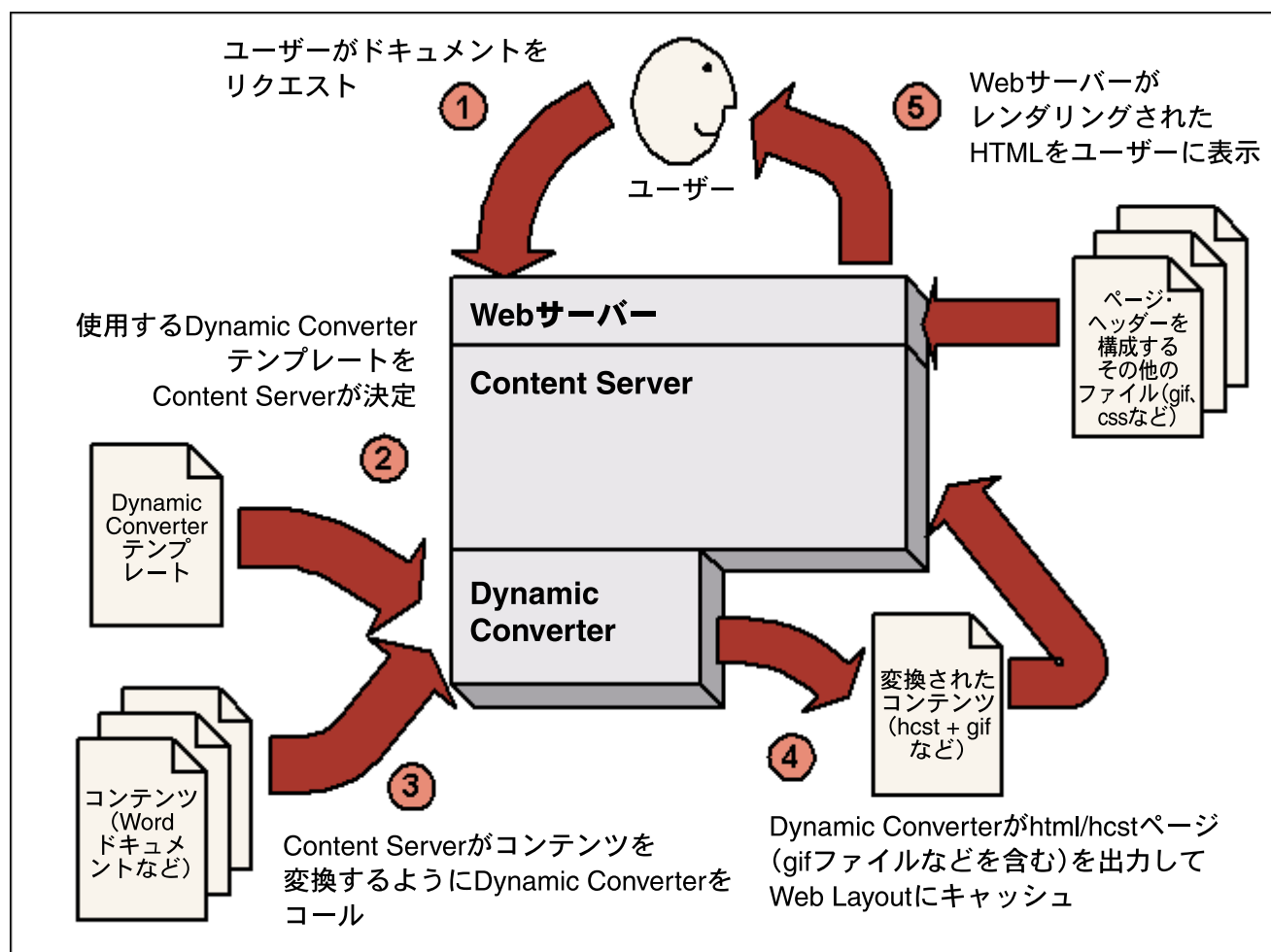
図 1-2 「Content Information」 ページの「HTML」 リンク

Content Information				
▼ Content Actions ▼ E-mail				
<b>Content ID:</b> Executive_overview				
<b>Revision:</b> 1				
<b>Type:</b> ADACCT - Acme Accounting Department				
<b>Title:</b> Executive Overview				
<b>Author:</b> sysadmin				
<b>Comments:</b>				
<b>Template Type:</b>				
<b>Security Group:</b> Public				
<b>Checked Out By:</b>				
<b>Status:</b> Released				
<b>Formats:</b> application/msword				
Links				
<b>Web Location:</b> <a href="http://SC8TEST7/stellent/groups/public/documents/adacct/executive_overview.doc">http://SC8TEST7/stellent/groups/public/documents/adacct/executive_overview.doc</a>				
<b>Get Conversion:</b> <a href="#">(HTML)</a>				
<b>Native File:</b> <a href="#">dc_sample.doc</a>				
Revision	Release Date	Expiration Date	Status	Actions
[ 1 ]	3/6/07 5:02 PM	None	Released	<a href="#">Delete</a>

# DYNAMIC CONVERTER のプロセス

図 1-1 は、基本的な Dynamic Converter のプロセスを示します。

図 1-1 基本的な Dynamic Converter のプロセス



プロセスは5つの手順で構成されます。

1. ユーザーが Web ブラウザからコンテンツ・アイテムをリクエストします。
2. Web サーバーはこのリクエストを Content Server に渡します。Content Server は、(メタデータ一致基準に基づき) HTML 変換に使用するテンプレートを決定します。
3. その後 Content Server は、ネイティブ・ファイル（たとえば Word ドキュメントや Excel スプレッドシートなど）を変換するよう Dynamic Converter をコールします。

4. 変換すると、1 つ以上の HTML ページとサポート・ファイル (GIF、JPEG など) が生成され、Dynamic Converter によって Dynamic Converter の Web 表示可能なファイルのリポジトリ (Web Layout) の専用のキャッシュ領域に出力されます。
5. Web サーバーは、他の追加ファイル (たとえば CSS ファイルや、ページのヘッダーとフッターに使用されるイメージ) を取得し、Dynamic Converter が生成したすべてのファイルとともにこれらをユーザーに提供します。



**注意:** Dynamic Converter は、高度なキャッシング・テクノロジーを使用してサーバーの負荷を削減し、ドキュメントが不要に再変換されることを防ぎます。詳細は、『Dynamic Converter 管理ガイド』を参照してください。

## システム要件

---

Dynamic Converter は、Microsoft Windows、Sun Solaris (SPARC)、HP-UX、IBM AIX および Linux でサポートされています。

Dynamic Converter をインストールする前に、次のシステム要件が満たされていることを確認してください。

- ❖ サーバーに Content Server 10g リリース 3 が正しくインストールされ、稼働している必要があります。サーバー要件の詳細は、Content Server のインストール・ガイドを参照してください。Dynamic Converter 10g リリース 3 は、10g リリース 3 よりも前の Content Server とは互換性がありません。
- ❖ UNIX オペレーティング・システムを使用している場合、インストールに Content Server との互換性がある必要があります。詳細は、Content Server のインストール・ガイドを参照してください。
- ❖ UNIX オペレーティング・システムを使用している場合、Content Server を実行するユーザーには、/tmp への書込みアクセス権が必要です。アクセスができないと、動変換は成功しません。
- ❖ クライアント・システムに次のいずれかの Web ブラウザーが必要です。
  - **Internet Explorer:** バージョン 4.0 以上
  - **Netscape:** バージョン 4.06 以上
- ❖ Template Editor は、Microsoft Windows および Internet Explorer バージョン 4.0 以上を実行しているマシンにダウンロードする必要があります。



# ライブラリの依存性

---

UNIX および Linux オペレーティング・システムでは、次のライブラリの依存性に注意してください。

## Solaris

- ❖ Solaris を実行している場合、Dynamic Converter が正しく作動するために、次のライブラリが必要です。
  - libgcc\_s.so.1
  - libstdc++.so.6
  - libm.so.2

## Linux

- ❖ Linux を実行している場合、Dynamic Converter が正しく作動するために、次のライブラリが必要です。

- libstdc++.so.5

このライブラリが Dynamic Converter のコンピュータに存在しない場合、手動でインストールする必要があります。Oracle Enterprise Linux 4 アップデート 4 の場合、ファイル名は *compat-libstdc++-33-3.2.3-47.3.i386.rpm* で、ディスク 1 (*Enterprise-R4-U4-i386-disc1.iso*) に含まれています。次のコマンドを使用してファイルをインストールします。

```
rpm -i compat-libstdc++-33-3.2.3-47.3.i386.rpm
```

rpm コマンドは、必ず root ユーザーで実行してください。

- ❖ Linux を実行している場合、レンダリングに X-Windows を使用するには、次のライブラリが必要です。

- libXm.so.3

このライブラリが Dynamic Converter のコンピュータに存在しない場合、手動でインストールする必要があります。Oracle Enterprise Linux 4 アップデート 4 の場合、ファイル名は *openmotif-2.2.3-10.RHEL4.5.i386.rpm* で、ディスク 2 (*Enterprise-R4-U4-i386-disc2.iso*) に含まれています。

## AIX

- ❖ AIX を実行している場合、Dynamic Converter が正しく作動するために、次のライブラリが必要です。

- libC.a

このライブラリを取得するには、IBM の Web サイト (<http://www-306.ibm.com/software/awdtools/xlcpp/>) から、使用中の AIX バージョンに対して適切なバージョンのライブラリをダウンロードします。

## HP-UX

- ❖ HP-UX を実行している場合、Dynamic Converter が正しく作動するために、次のライブラリが必要です。

- libdld.2
- libc.2
- libcl.2
- libisamstub.1
- libCSup.2
- libstream.2
- libstd.2
- libstd\_v2.2
- libm.2
- libXll.sl

# 2

## DYNAMIC CONVERTER ソフトウェア のインストールと有効化

Dynamic Converter ソフトウェアのインストールおよびセットアップは、次の手順で構成されます。

1. [インストール前のタスクと考慮事項](#) (2-2 ページ) :
  - ❖ [Dynamic Converter の再インストールまたは以前のバージョンからのアップグレード](#) (2-2 ページ)
  - ❖ [マスターおよびプロキシ・サーバーでの Dynamic Converter のインストールまたはアップグレード](#) (2-2 ページ)
  - ❖ [UNIX でのグラフィックおよびフォントのレンダリング](#) (2-3 ページ)
2. [Dynamic Converter ソフトウェアのインストールと有効化](#) (2-7 ページ)
3. [インストール後の手順と考慮事項](#) (2-8 ページ) :
  - ❖ [IBM DB2 のフィールド長の問題](#) (2-9 ページ)
  - ❖ [Linux での Motif ライブラリとの互換性](#) (2-9 ページ)
  - ❖ [サンプル・テンプレートのチェックイン](#) (2-10 ページ)
  - ❖ [テンプレートの編集](#) (2-12 ページ)
  - ❖ [管理タスク](#) (2-12 ページ)



**重要:** Dynamic Converter をインストールおよびセットアップする前に、すべてのシステム要件が満たされていることを確認してください。



**注意:** Dynamic Converter を UNIX または Linux にインストールする場合は、1-5 ページの「[ライブラリの依存性](#)」も参照してください。

## インストール前のタスクと考慮事項

---

このドキュメントでは、次を前提としています。

- ❖ Dynamic Converter をインストールするシステムへの管理権限があること。
- ❖ インストールするシステムが 1-4 ページの「[システム要件](#)」に記載されているハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たしていること。

Dynamic Converter コンポーネントをインストールおよび有効化する前に、通常のインストールのかわりに、または追加して次のタスクを実行する必要があるかどうかを決定します。

- ❖ [Dynamic Converter の再インストールまたは以前のバージョンからのアップグレード](#) (2-2 ページ)
- ❖ [マスターおよびプロキシ・サーバーでの Dynamic Converter のインストールまたはアップグレード](#) (2-2 ページ)
- ❖ [UNIX でのグラフィックおよびフォントのレンダリング](#) (2-3 ページ)

### Dynamic Converter の再インストールまたは以前のバージョンからのアップグレード

---

Dynamic Converter を再インストールするか、以前のバージョンの Dynamic Converter からアップグレードする場合、新しい Content Server コンポーネントをインストールする前に、以前のものをアンインストールしてください。詳細は、A-1 ページの「[Dynamic Converter コンポーネントのアンインストール](#)」を参照してください。

### マスターおよびプロキシ・サーバーでの Dynamic Converter のインストールまたはアップグレード

---

Dynamic Converter をマスター Content Server および関連付けられたプロキシ Content Server の両方で使用する場合、Dynamic Converter コンポーネントを両サーバーにインストールします。同様に、Dynamic Converter の既存のバージョンがマスターおよびプロキシ Content Server の両方に現在インストールされている場合、両方を別々にアップグレードする必要があります。

## UNIX でのグラフィックおよびフォントのレンダリング

---

Dynamic Converter は、グラフィックおよびフォントのレンダリングに、次のいずれかの方法を使用します。

1. [グラフィック・デバイス・エミュレーション](#) (2-3 ページ)
2. [X-Windows のグラフィック・ハードウェア](#) (2-4 ページ)
3. [X-Windows の仮想フレーム・バッファ・ソフトウェア](#) (2-5 ページ)

Linux (32-bit Intel) と Solaris (Sparc) では 3 つの方法のいずれもがサポートされていますが、最初のデフォルトはオプション 1 です。HP-UX と AIX ではオプション 1 は使用できないため、オプション 2 または 3 をユーザーが設定する必要があります。

### オプション 1: 選択されたシステムでのグラフィック・デバイス・エミュレーションの使用

グラフィック・デバイス・エミュレーションを使用すると、グラフィック・カードまたは X-Windows の仮想フレーム・バッファ・ソフトウェアをインストールしなくても、グラフィックやフォントをレンダリングできます。この方法では、TrueType フォント (.ttf および .ttc ファイル拡張子を持つもの) の使用をサポートしています。変換中にフォントが検出されない場合、変換は失敗します。フォントの場所は、Dynamic Converter の構成ページの「Font Path」設定で制御されます。



**重要:** TrueType フォントを UNIX サーバーにコピーする場合、ファイル拡張子は小文字にする必要があります。

X-Windows を使用する場合、Dynamic Converter の「Configuration」ページの「Use X-Windows for Rasterization」設定を有効にします（詳細は『Dynamic Converter 管理ガイド』を参照してください）。



**注意:** グラフィック・デバイス・エミュレーションがサポートされていない UNIX システム (AIX など) で実行する場合、この設定は無視されます。

## オプション 2: X-Windows のグラフィック・ハードウェア・テクノロジーの使用

X-Windows テクノロジーでは、Dynamic Converter は実行中の X-Server にアクセスする必要があります。Dynamic Converter はピクセルの描画を X-Server システムに依存しているため、特にベクター・グラフィックの変換時にアクセスする必要があります。

ベクター・グラフィック・フォーマットでは、線と塗りを記述します。一般的なフォーマットには、WMF、EMF、CorelDRAW、Adobe Illustrator、Excel のグラフ、Word のオートシェイプ、および PowerPoint プレゼンテーションがあります。一方、ラスター・グラフィックには、イメージのピクセル情報が含まれています。一般的なファイル・フォーマットは BMP、JPEG および GIF です。

ベクターとラスター・グラフィックの違いを知る方法の 1 つに、イメージを拡大する方法があります。ベクター・グラフィックでは線を記述するため、線の位置が再計算され、イメージを拡大してもきれいに表示されます。ただし、ラスター・グラフィックは、サイズを変更すると、イメージがモザイク状になります。

ベクター・グラフィックを変換する（他にも、スプレッドシートで複数の列に渡るテキストを正確に測定する）には、Dynamic Converter が X-Server にアクセスできるように、UNIX マシンで次の手順を実行する必要があります。

1. Content Server を実行しているユーザーでローカル・コンソールにログオンします。
2. 次のコマンドを実行し、Content Server が実行中の X-Server を使用する権限を付与します。  
`xhost +localhost`
3. 「Configuration」ページの DISPLAY 変数を **:1.0** に設定します。
4. Content Server を停止し、次に管理サーバーを停止します。
5. 管理サーバーを再起動し、次に Content Server を再起動します。
6. ユーザーがログインした状態でコンソールをロックします。ユーザーがログオフすると、グラフィックの変換は失敗します。

オプション 2 を使用し、ユーザーをコンソールにログオンしたままにしない場合、次の手順を実行します。ただしこの方法では、ベクター・グラフィックを使用したドキュメントと、スプレッドシート・ファイルの一部のテキストは、正しく変換されません。

1. Content Server を実行しているユーザーでローカル・コンソールにログオンします。
2. Content Server を再起動します。
3. ローカル・コンソールからログオフします。

## オプション 3: X-Windows の仮想フレーム・バッファ・ソフトウェアの使用

ユーザーをコンソールにログオンしたままにするのを防ぐ別の手段として、X-Windows の仮想フレーム・バッファ・ソフトウェアを使用する方法があります。この項では、ビデオ・カードを使用してもしなくても実行可能な、X11R6 仮想フレーム・バッファを Solaris にインストールする方法を説明します。（他の UNIX オペレーティング・システムでも、同様のインストール手順を実行します。）

問題が発生した場合や支援が必要な場合は、コンサルティング・サービスにお問い合わせください。

### 手順 1: 必須ファイルの入手

最初の手順では、**README.XVFB** および **X11R6\_bin.tar.Z** の 2 つのファイル入手します。これらは [ftp://ferret.wrc.noaa.gov \(special\\_request/xvfb](ftp://ferret.wrc.noaa.gov/special_request/xvfb) ディレクトリ) から入手できます。匿名でログインできます。



ファイルは必ずバイナリ・モードで転送してください。Windows では、ブラウザ・ウィンドウで <ftp://> を使用すると、バイナリ転送が実行されない場合があります。ファイル・サイズを確認します。ディスク上のサイズではなく、ファイルのサイズが重要です。

### 手順 2: バイナリのインストール

次の手順では、ダウンロードしたバイナリをインストールします。

1. tar ファイルを、Solaris マシンの一時的な場所に保存します。
2. root への変更 : **su**
3. ディレクトリの作成 : **mkdir /usr/X11R6**
4. ディレクトリへの移動 : **cd /usr/X11R6**  
この場合、大 / 小文字の区別があります。X と R は大文字にしてください。
5. ファイルの実行 : **uncompress <temp directory>/X11R6\_bin.tar.Z**
6. ファイルの解凍 : **tar xvf <temp directory>/X11R6\_bin.tar.Z**

### 手順 3: 仮想フレーム・バッファの起動

`/etc/init.d` の起動スクリプトで、適切な実行レベル・フォルダへのリンクを作成して仮想フレーム・バッファを起動します。（README ファイルに起動スクリプトの例が含まれています。）

1. `root` で `cd /usr/X11R6` に移動します。
2. `./Xvfb :1 -screen 0 1024x768x8 &` で起動します。

セキュリティ上の理由から、`root` のパスにはローカル・ディレクトリが含まれていないため、先頭に `./` が必要です。起動スクリプトを作成する場合、ユーザーのログイン・コンテキストがまだ存在しないため、コマンドを完全修飾コマンドで開始する必要があります。

**`/usr/X11R6/bin/Xvfb :1 -screen 0 1024x768x8 &`**

このコマンドにより、X-Server がデバイス **1**、画面 **0** で開始します。X システムでは複数のビデオ・デバイスが使用可能で、最初のものが **0** になります。複数のビデオ・カードを使用している場合、デバイス番号を調整してください。また、X システムでは、ビデオ・デバイスで複数の画面を使用できます。ここでは、必ず画面 **0** を指定してください。

### 手順 4: 仮想フレーム・バッファの参照

最後に、仮想フレーム・バッファを参照する必要があります。

1. Dynamic Converter コンポーネントのインストール後（次のページを参照）、Content Server のインタフェースで Dynamic Converter の構成ページを開きます。
2. DISPLAY 変数を **:1.0** に設定します。
3. Content Server を再起動します。



# DYNAMIC CONVERTER ソフトウェアのインストールと有効化

Dynamic Converter ソフトウェアには、Content Server コンポーネント・ファイルが含まれています。コンポーネントは、Content Server の機能を変更または強化するプログラム・コード、リソースおよびテンプレートのモジュールです。



**注意:** Dynamic Converter をマスター Content Server および関連付けられたプロキシ Content Server の両方で使用する場合、Dynamic Converter コンポーネントを両サーバーにインストールする必要があります。

Dynamic Converter コンポーネントをインストールおよび有効化するには、次の手順を実行します。

1. ネイティブ OS ユーティリティがインストール済で有効化されており、実行中であることを確認してください。
2. 新しいブラウザ・ウィンドウを開き、システム管理者 (sysmanager ロール) として Content Server にログインします。

3. 「Administration Applets」ページに移動して、「Admin Server」リンクをクリックします。

4. 「Content Admin Server」ページで、Dynamic Converter コンポーネントをインストールする Content Server インスタンスのボタンをクリックします。

選択した Content Server インスタンスのステータス・ページが表示されます。

5. サーバー・インスタンスのオプション・リストで、「Component Manager」リンクをクリックします。

「Component Manager」ページが表示されます。

6. 「Install New Component」フィールドの横の「Browse」ボタンをクリックします。
7. 適切な Dynamic Converter コンポーネントの zip ファイル (ソフトウェア・ディストリビューション・メディアの *component* ディレクトリ内) にナビゲートし、ファイルを選択してファイル選択ダイアログを閉じます。
8. 「Install」をクリックします。概要ページにインストールされるアイテムのリストが表示されます。
9. 「Continue」をクリックします。これで必要なすべてのファイルがアップロードされてインストールされます。




**注意:** 特にネットワーク・ドライブにインストールしている場合は、アップロードにしばらく時間がかかることがあります。進捗状況の表示はありません。アップロードは、Content Server と同じマシンで実行しているブラウザで実行します。

すべてのファイルのコピーが完了すると、コンポーネントが正しくアップロードおよびインストールされたというメッセージが表示されます。

10. リンクをクリックしてコンポーネントを有効化し、サーバーを再起動します。

Content Server のステータス・ページが表示されます。

11. 再起動アイコン (  ) をクリックして Content Server インスタンスを再起動します。

12. UNIX システムの場合、「Configuration」ページで「Display」および「Font Path」設定が正しく設定されていることを確認してください。



**注意:** すべてのブラウザ・ウィンドウを閉じてから、再度 Content Server にログインします。

13. インストールを検証するには、システム管理者として Content Server にログインし、「Administration Applets」ページに移動します。このページに、「Dynamic Converter Admin」リンクが表示されます。

このリンクをクリックすると、Dynamic Converter の管理ページに移動します。このページで、テンプレート選択ルールを作成、変換テンプレートの作成と編集、および Dynamic Converter の構成が実行できます。

Dynamic Converter が正しくインストールおよび設定され、コンテンツ・アイテムにテンプレート選択ルールが適用されると、検索結果ページとコンテンツ情報ページに、動的に変換されたコンテンツ・アイテムへの HTML リンクが表示されるようになります。このリンクをクリックすると、割り当てられたテンプレートに従って変換されたファイルを表示できます。

## インストール後の手順と考慮事項

Dynamic Converter コンポーネントをインストールおよび有効化した後、次の考慮事項およびタスクに注意してください。

- ❖ [IBM DB2 のフィールド長の問題](#) (2-9 ページ)
- ❖ [Linux での Motif ライブラリとの互換性](#) (2-9 ページ)
- ❖ [サンプル・テンプレートのチェックイン](#) (2-10 ページ)
- ❖ [テンプレートの編集](#) (2-12 ページ)
- ❖ [管理タスク](#) (2-12 ページ)

## IBM DB2 のフィールド長の問題

Dynamic Converter を IBM の DB2 データベースとともに実行すると、問題が発生する場合があります。Dynamic Converter コンポーネントをインストールすると、DB2 の使用中に Content Server が再起動に失敗し、次のエラーが生成される場合があります。

```
Unable to alter table '[IBM] [CLI Driver] [DB2/NT] SQL0107N The name
"PK_HTMLCONVERSIONSTEMP" is too long. The maximum length is "18".
SQLSTATE=42622'.
```

このエラーが発生した場合、新しい Content Server の構成変数を作成する必要があります。

1. 新しいブラウザ・ウィンドウを開き、システム管理者（sysmanager ロール）として Content Server にログインします。
2. 「Administration Applets」ページに移動して、「Admin Server」リンクをクリックします。
3. 「Content Admin Server」ページで、Dynamic Converter が稼働中の Content Server インスタンスのボタンをクリックします。

選択した Content Server インスタンスのステータス・ページが表示されます。

4. サーバー・インスタンスのオプション・リストで、「General Configuration」リンクをクリックします。

「General Configuration」ページが表示されます。

5. ページの一番下までスクロールし、表「Additional Configuration Variables」に次の行を追加します。

```
UseDatabaseShortIndexName=true
```

6. 「Save」をクリックします。
7. Content Server を再起動します。

## Linux での Motif ライブラリとの互換性

一部の Linux インストールでは、インストールされている Motif ライブラリと、Dynamic Converter の変換テクノロジーの作成に使用されているライブラリに互換性がありません。適切な Motif ライブラリがないと、グラフィックの変換時に問題が発生します。その結果、0 バイトのグラフィック・ファイルが生成されます。

Linux システムで使用されている Motif ライブラリを確認するには、次のディレクトリに移動します。

```
shared/os/linux/lib/htmllexport
```

ここで次のコマンドを実行します。

```
ldd libsc_du.so
```

これにより、ライブラリの依存性のリストが出力されます。**Motif** ライブラリの行が次のように表示されているかどうかを調べます。

```
libXm.so.1 => not found
```

このように表示されている場合、互換性のある **Motif** ライブラリはインストールされていない可能性があります。

この場合、互換性のある **Motif** ライブラリをインストールし、その後 **Dynamic Converter** を再インストールする必要があります。ご使用の **Linux** プラットフォームのインストール・ディスクに、適切なライブラリが含まれている場合があります。含まれていない場合、次の Web サイトでバイナリ **rpm** のダウンロード手順を参照してください。  
<http://www.lesstif.org/download.html>

**Content Server** の構築およびテスト時に使用されている **Motif** ライブラリのバージョンは次のとおりです。

```
x86 Linux - lesstif v. 0.89.0
```

## サンプル・テンプレートのチェックイン

**Dynamic Converter** にはいくつかのサンプル・テンプレートが含まれています。これらをコンテンツ・アイテムに適用する前に、まず **Content Server** にチェックインする必要があります。新しい **Dynamic Converter** コンポーネントを有効化した後、これらのテンプレートを **Content Server** にチェックインすると、素早く簡単にアクセスできます。



**注意:** サンプル・テンプレートを **Dynamic Converter** の以前のバージョンのインストール時に **Content Server** にチェックインした場合、再度チェックインする必要はありません。

チェックインする際、**Dynamic Converter** のテンプレート・チェックイン・フォームでテンプレート・タイプとして「**GUI Template**」を必ず選択してください。これにより、使用可能なテンプレート・リストの一部となり、**Template Editor** に認識されるようになります。

サンプル・テンプレートは、**Dynamic Converter** の **samples** ディレクトリ (**[CS\_Dir]/custom/DynamicConverter/Samples/**。 **[CS\_Dir]** は **Content Server** インスタンスのインストール・ディレクトリ) 内にあります。様々な種類のテンプレートがあり、それぞれ正しいタイプとしてチェックインする必要があります。

- ❖ **GUI テンプレート:** これらのテンプレートは **gui\_templates** サブディレクトリに含まれており、変換したドキュメントの外観上の表現と変更を提供します。**Template Editor** を使用してこれらのテンプレートを変更し、リアルタイムで表示できます。GUI テンプレートのファイル拡張子は **.ttp** です。

- ❖ **スクリプト・テンプレート**：これらのテンプレートは *script\_templates* サブディレクトリに含まれており、変換したドキュメントに一連のスクリプト・ルールを提供します。スクリプト・テンプレートを変更するには、テンプレートの作成に使用された言語の知識が必要です。スクリプト・テンプレートのファイル拡張子は *.hcst* です。

## その他の考慮事項

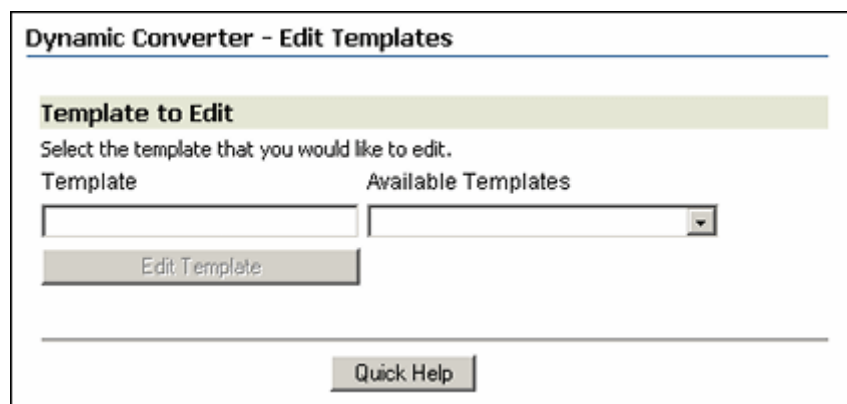
Dynamic Converter のテンプレートについて、次の考慮事項にも注意してください。

- ❖ GUI テンプレートを **Content Server** にチェックインする前に、テンプレートの外観を確認する場合は、『Dynamic Converter Sample Templates』ドキュメントにそれぞれのスクリーンショットがあります。このドキュメントは、Dynamic Converter ソフトウェアのディストリビューション・メディアに PDF ファイルとして含まれています。
- ❖ テンプレート・サンプルに加えて、他に 2 つのサンプルが用意されています。  
*gui\_layouts* サブディレクトリには *Default\_layout.txt* が含まれています。これは、変換したコンテンツの周りに **Content Server** の境界線とナビゲーションを表示するレイアウト・テンプレートです。また、*Snippet\_layout.txt* は、変換したコンテンツから単純な HTML ファイルを作成し、コンテンツを別の Web ページに含められるようにするレイアウト・テンプレートです。これらのテンプレートは、**Layout** テンプレートとして **Content Server** にチェックインする必要があります。最後に、*root* ディレクトリには *snippet\_demo.hcst* が含まれています。これは、Idoc Script 機能を説明するポータル形式の Web ページです（詳細は『Dynamic Converter 管理ガイド』を参照）。

## テンプレートの編集

Dynamic Converter には Template Editor が含まれており、GUI テンプレートで用意されている多様な設定のためのグラフィカル・ユーザー・インタフェース（GUI）を提供しています。Dynamic Converter の「Edit Templates」ページまたは「Template Selection Rules」ページの「**Edit Template**」を最初にクリックしたときに、Template Editor がダウンロードされます。

図 2-1 「Edit Templates」ページ



**注意：**Template Editor をダウンロードおよびインストールするには、Microsoft Windows で Internet Explorer 4.0 以上を実行している必要があります。

インストール・ダイアログ・ボックスが表示されます。「Yes」をクリックすると、Template Editor がワークステーションにダウンロードされます。Template Editor ソフトウェアは C:\Program Files\Oracle\Universal Content Management\Template Editor\10gR3 にインストールされます。

最初のインストール後に「**Edit Template**」ボタンをクリックすると、素早く簡単に Template Editor を開けます。



**注意：**Template Editor のアンインストール手順については、A-2 ページを参照してください。

## 管理タスク

Dynamic Converter をインストールした後は、Dynamic Converter 環境の構成および設定に進みます。詳細は、『Dynamic Converter 管理ガイド』を参照してください。



# DYNAMIC CONVERTER の アンインストール

この項の内容は、次のとおりです。

- ❖ [Dynamic Converter コンポーネントのアンインストール](#) (A-1 ページ)
- ❖ [Template Editor のアンインストール](#) (A-2 ページ)

## DYNAMIC CONVERTER コンポーネントの アンインストール

---

Dynamic Converter コンポーネントをアンインストールするには、次の手順を実行します。

1. 新しいブラウザ・ウィンドウを開き、システム管理者として **Content Server** にログインします。
2. 「Administration Applets」ページに移動して、「**Admin Server**」リンクをクリックします。
3. 「Content Admin Server」ページで、Dynamic Converter コンポーネントをアンインストールする **Content Server** インスタンスのボタンをクリックします。

**Content Server** インスタンスのステータス・ページが表示されます。

4. サーバー・インスタンスのオプション・リストで、「**Component Manager**」リンクをクリックします。

「Component Manager」ページが表示されます。

5. アンインストールするすべての Dynamic Converter コンポーネントを無効化します。
  - a. 各コンポーネントを「Enabled Components」リストで選択します。
  - b. 「Disable」ボタンをクリックして、コンポーネントを「Disabled Components」リストに移動します。
6. Content Server を再起動します。
7. 「Component Manager」ページに戻ります。
8. 「Uninstall Component」ドロップダウン・リストでアンインストールする無効なコンポーネントを選択し、「Uninstall」をクリックします。
9. 選択したコンポーネントのアンインストール・プロセスを確認するプロンプトが表示されます。「OK」をクリックして確認します。
10. コンポーネントのアンインストールが完了すると、コンポーネントが正しくアンインストールされたというメッセージが表示されます。

リンクをクリックして Component Manager に戻ります。
11. ステップ 8 ～ 10 を繰り返して無効な各コンポーネントをアンインストールします。
12. すべてのコンポーネントをアンインストールした後、Content Server を再起動します。



**注意:** コンポーネントをアンインストールすると、Content Server ではそのコンポーネントが認識されなくなりますが、コンポーネント・ファイルはファイル・システムから削除されません。

## TEMPLATE EDITOR のアンインストール

---

### Microsoft Windows

Template Editor をアンインストールする場合、「コントロール パネル」の「プログラムの追加と削除」ダイアログ・ボックスからアンインストールできます。プログラムを削除する前に、必ず Internet Explorer を閉じてください。アンインストール時に Internet Explorer が開かれていると、Template Editor のすべてのファイルが正しく削除されません。





# サード・パーティ・ライセンス

## 概要

---

この付録には、この製品に付属するすべてのサード・パーティ製品のサード・パーティ・ライセンスの説明が含まれます。

- ❖ [Apache Software License](#) (B-1 ページ)
- ❖ [W3C® Software Notice and License](#) (B-2 ページ)
- ❖ [Zlib License](#) (B-4 ページ)
- ❖ [一般的な BSD ライセンス](#) (B-5 ページ)
- ❖ [一般的な MIT ライセンス](#) (B-5 ページ)
- ❖ [Unicode ライセンス](#) (B-6 ページ)
- ❖ [その他の帰属](#) (B-7 ページ)

## APACHE SOFTWARE LICENSE

---

```
* Copyright 1999-2004 The Apache Software Foundation.  
* Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");  
* you may not use this file except in compliance with the License.  
* You may obtain a copy of the License at  
*   http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0  
*  
* Unless required by applicable law or agreed to in writing, software
```

- \* distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,
- \* WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
- \* See the License for the specific language governing permissions and
- \* limitations under the License.

## W3C® SOFTWARE NOTICE AND LICENSE

---

- \* Copyright © 1994-2000 World Wide Web Consortium,
- \* (Massachusetts Institute of Technology, Institut National de
- \* Recherche en Informatique et en Automatique, Keio University).
- \* All Rights Reserved. <http://www.w3.org/Consortium/Legal/>
- \*
- \* This W3C work (including software, documents, or other related items) is
- \* being provided by the copyright holders under the following license. By
- \* obtaining, using and/or copying this work, you (the licensee) agree that
- \* you have read, understood, and will comply with the following terms and
- \* conditions:
- \*
- \* Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its
- \* documentation, with or without modification, for any purpose and without
- \* fee or royalty is hereby granted, provided that you include the following
- \* on ALL copies of the software and documentation or portions thereof,
- \* including modifications, that you make:
- \*
- \* 1. The full text of this NOTICE in a location viewable to users of the
- \* redistributed or derivative work.
- \*
- \* 2. Any pre-existing intellectual property disclaimers, notices, or terms
- \* and conditions. If none exist, a short notice of the following form
- \* (hypertext is preferred, text is permitted) should be used within the
- \* body of any redistributed or derivative code: "Copyright ©
- \* [\$date-of-software] World Wide Web Consortium, (Massachusetts
- \* Institute of Technology, Institut National de Recherche en

\* Informatique et en Automatique, Keio University). All Rights  
\* Reserved. <http://www.w3.org/Consortium/Legal/>"  
\*  
\* 3. Notice of any changes or modifications to the W3C files, including the  
\* date changes were made. (We recommend you provide URIs to the location  
\* from which the code is derived.)  
\*  
\* THIS SOFTWARE AND DOCUMENTATION IS PROVIDED "AS IS," AND COPYRIGHT HOLDERS  
\* MAKE NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT  
\* NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR  
\* PURPOSE OR THAT THE USE OF THE SOFTWARE OR DOCUMENTATION WILL NOT INFRINGE  
\* ANY THIRD PARTY PATENTS, COPYRIGHTS, TRADEMARKS OR OTHER RIGHTS.  
\*  
\* COPYRIGHT HOLDERS WILL NOT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL OR  
\* CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF ANY USE OF THE SOFTWARE OR  
\* DOCUMENTATION.  
\*  
\* The name and trademarks of copyright holders may NOT be used in advertising  
\* or publicity pertaining to the software without specific, written prior  
\* permission. Title to copyright in this software and any associated  
\* documentation will at all times remain with copyright holders.  
\*

## ZLIB LICENSE

---

\* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library  
version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied  
warranty. In no event will the authors be held liable for any damages  
arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose,  
including commercial applications, and to alter it and redistribute it  
freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not  
claim that you wrote the original software. If you use this software  
in a product, an acknowledgment in the product documentation would be  
appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be  
misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org

Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

## 一般的な BSD ライセンス

---

Copyright (c) 1998, Regents of the University of California

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

"Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

"Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

"Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## 一般的な MIT ライセンス

---

Copyright (c) 1998, Regents of the Massachusetts Institute of Technology

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM,

DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

## UNICODE ライセンス

---

UNICODE, INC. LICENSE AGREEMENT - DATA FILES AND SOFTWARE

Unicode Data Files include all data files under the directories <http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and <http://www.unicode.org/cldr/data/>. Unicode Software includes any source code published in the Unicode Standard or under the directories <http://www.unicode.org/Public/>, <http://www.unicode.org/reports/>, and <http://www.unicode.org/cldr/data/>.

NOTICE TO USER: Carefully read the following legal agreement. BY DOWNLOADING, INSTALLING, COPYING OR OTHERWISE USING UNICODE INC.'S DATA FILES ("DATA FILES"), AND/OR SOFTWARE ("SOFTWARE"), YOU UNEQUIVOCALLY ACCEPT, AND AGREE TO BE BOUND BY, ALL OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE, DO NOT DOWNLOAD, INSTALL, COPY, DISTRIBUTE OR USE THE DATA FILES OR SOFTWARE.

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright © 1991-2006 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in <http://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

Unicode and the Unicode logo are trademarks of Unicode, Inc., and may be registered in some jurisdictions. All other trademarks and registered trademarks mentioned herein are the property of their respective owners

## その他の帰属

---

Adobe, Acrobat, and the Acrobat Logo are registered trademarks of Adobe Systems Incorporated.

FAST Instream is a trademark of Fast Search and Transfer ASA.

HP-UX is a registered trademark of Hewlett-Packard Company.

IBM, Informix, and DB2 are registered trademarks of IBM Corporation.

Jaws PDF Library is a registered trademark of Global Graphics Software Ltd.

Kofax is a registered trademark, and Ascent and Ascent Capture are trademarks of Kofax Image Products.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds.

Mac is a registered trademark, and Safari is a trademark of Apple Computer, Inc.

Microsoft, Windows, and Internet Explorer are registered trademarks of Microsoft Corporation.

MrSID is property of LizardTech, Inc. It is protected by U.S. Patent No. 5,710,835. Foreign Patents Pending.

Oracle is a registered trademark of Oracle Corporation.

Portions Copyright © 1994-1997 LEAD Technologies, Inc. All rights reserved.

Portions Copyright © 1990-1998 Handmade Software, Inc. All rights reserved.

Portions Copyright © 1988, 1997 Aladdin Enterprises. All rights reserved.

Portions Copyright © 1997 Soft Horizons. All rights reserved.

Portions Copyright © 1995-1999 LizardTech, Inc. All rights reserved.

Red Hat is a registered trademark of Red Hat, Inc.

Sun is a registered trademark, and Sun ONE, Solaris, iPlanet and Java are trademarks of Sun Microsystems, Inc.

Sybase is a registered trademark of Sybase, Inc.

UNIX is a registered trademark of The Open Group.

Verity is a registered trademark of Autonomy Corporation plc

サード・パーティ・ライセンス



# 索引

## A

AIX, 必須ライブラリ, 1-6

## D

DB2 とフィールド長, 2-9

DISPLAY 変数, 2-4

Dynamic Converter

アップグレード, 2-2

アンインストール, A-1

インストール, 2-7

概要, 1-1

再インストール, 2-2

システム要件, 1-4

プロセス, 1-3

マスターおよびプロキシ・サーバー, 2-2

ライブラリの依存性, 1-5

Dynamic Converter コンポーネントのインストール,  
2-7

Dynamic Converter のアップグレード, 2-2

Dynamic Converter のアンインストール, A-1

Dynamic Converter の再インストール, 2-2

## G

GUI テンプレート, 2-10

## H

HP-UX, 必須ライブラリ, 1-6

HTML への変換, 1-1

HTML 変換, 1-1

## I

IBM AIX, 必須ライブラリ, 1-6

## L

Linux

Motif ライブラリとの互換性, 2-9

必須ライブラリ, 1-5

Linux での Motif ライブラリとの互換性, 2-9

## S

Solaris, 必須ライブラリ, 1-5

## T

Template Editor, 2-12

Template Editor のアンインストール, A-2

TrueType フォント, 2-3

## U

UNIX, ライブラリの依存性, 1-5

UNIX 上のグラフィック, 2-3

UNIX 上のフォント, 2-3

UNIX でのグラフィックおよびフォントのレンダリング,  
2-3

## X

X-Windows, 2-3, 2-5

## い

依存性, 1-5

インストール後の手順と考慮事項, 2-8

インストール前のタスクと考慮事項, 2-2

## か

仮想フレーム・バッファ, 2-5

## く

グラフィック

ベクター, 2-4

ラスター, 2-4

グラフィック・デバイス・エミュレーション, 2-3

グラフィック・ハードウェア, 2-3

## こ

コンポーネントのインストール, 2-7

## さ

サンプル・テンプレート, 2-10

サンプル・テンプレートのチェックイン, 2-10

## し

システム要件, 1-4

## す

スクリプト・テンプレート, 2-11

## て

デバイス・エミュレーション, 2-3

テンプレート

GUI テンプレート, 2-10

スクリプト・テンプレート, 2-11

レイアウト・テンプレート, 2-11

## ふ

フィールド長と DB2, 2-9

プロキシ・サーバー, 2-2

プロキシ・サーバーへの Dynamic Converter のインストール, 2-2

## へ

ベクター・グラフィック, 2-3, 2-4

変換のプロセス, 1-3

## ま

マスター・サーバー, 2-2

## ら

ライブラリの依存性, 1-5, 2-9

ラスター・グラフィック, 2-4

## れ

レイアウト・テンプレート, 2-11